

2年 学年便り

希 望



大阪市立瓜破西中学校 第2学年

令和2年6月2日発行 第7号

2年生の皆さん、こんにちは！

第6号に引き続き、今号は新型コロナウイルス感染症を予防するための基本行動「ソーシャルディスタンス」について説明したいと思います。ソーシャルディスタンスは日本語では社会的距離を意味します。新型コロナウイルスは、症状が出ていなくてもウイルスを保有している、いわゆる無症状の方もいます。無症状の場合、自分が新型コロナウイルスに感染していると考えずに人に接触してしまうということもあり、気がついたら自分自身がクラスター（小規模な集団感染や、それによってできた感染者集団）となってしまう可能性もあります。自分だけでなく相手への感染を防ぐために、ひいては日本全体の感染拡大を防ぐために、社会的距離の確保、人的接触距離の確保として、ソーシャルディスタンス（フィジカルディスタンスともいわれています）という考え方が提唱されています。

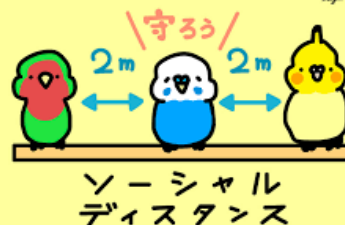
では、ソーシャルディスタンスを守るためにはどのくらい人と距離をとればよいのでしょうか？この距離については、コロナウィルスの感染経路が関係しています。コロナウィルスの感染経路の一つである飛沫感染は、くしゃみや咳によるしぶきが到達する距離が、くしゃみで3m、咳で2mとされています。この距離も加味して厚生労働省では保つべき距離として相手との距離を2m程度（最低1m）取ることを推奨しています。2mがどのくらいの距離感であるのかが分かりにくい人もいるかもしれません。2mとは互いに手を伸ばして届く距離がだいたい2mであるとしています。日常の中で三密、ソーシャルディスタンスを守り抜くということは非常に難しいかもしれません。ですが、できるだけ意識をした行動をとることによって、自身を守り、ひいては日本の感染拡大の抑制につながるかもしれません。ぜひ、意識をした行動をしてみてください。

「密接場面」を避けるため、人同士の距離を適切にとる「ソーシャルディスタンス（フィジカルディスタンス）」を心がけましょう！

どうすれば、うつらない・うつさない行動をとれるか、みんなで工夫しましょう。

一人一人が考えて、行動しましょう。

今号は、松本先生からのお話です。



勝木先生からバトンを受け取りました、なかよし学級担当の松本です。みなさん、昨年度から引き続きよろしくお願いします。さて、先生はこう見えて今年で30歳になります。いわゆる「三十路(みそじ)」というやつです。ちなみに笠井先生とは同級生。先生のほうが老けていると思ったそこのあなた！あながち間違いではないかもしれません(笑)。できれば、大人っぽいと言ってほしいですが…。

裏面に続く

話は変わりますが、先生には実は・・・1歳になったばかりの娘がいます。最近は少しずつ歩けるようになって、日々成長しているのを実感しています。その娘は今、「アンパンマン」が大好きです。毎日「アンパン！アンパン！」と叫んでいます(笑)。みなさんも一度は通った道ではないでしょうか？懐かしいですね。先生は最近、娘とアンパンマンを見ている時に思ったことがあります。アンパンマンってどういうふうに誕生したのだろうと。そこで調べてみました。以下、簡単にまとめたので紹介します。

● 作者 やなせたかしは貧困に苦しむ人々を助けるためアンパンマンというヒーローを作った

● やなせたかしは戦争を経験しており、深刻な食糧事情もあって「人生で一番つらいことは食べられないこと」、「食べ物が向こうからやって来たらいいのに」と考え、アンパンマンが誕生した

(ウィキペディア調べ)

映画、ドラマ、マンガ、アニメなどではいろいろなヒーローが存在します。ただし、現実の世界にはそのようなすごいヒーローは存在しないかもしれません。今、この世の中はコロナウイルスの影響で混乱しています。不安や不満を抱えています。そして、コロナウイルスから自分や家族を守るので精一杯な状況です。そんな状況の中、最前線でコロナウイルスと戦ってくれている人たちもいます。それは医師や看護師である医療従事者などのみなさんです。先生の中ではヒーローです。しかし、そんなヒーローに対して心無い嫌なことを言う人もいます。そういうニュースを耳にすると非常に残念な気持ちになります。瓜破西中学校の生徒はそんなことを言わないとわかっています。ただ、そういうこともあると知ってもらいたいです。緊急事態宣言が解除されて、いつも通りの生活ができると思っている人がいるかもしれません。しかし、まだ終わりじゃないです。コロナウイルスが完全終息するにはまだまだ時間がかかるかもしれません。だから、今こそ自分たちでできることをしっかり考えてもらいたいです。先生たちもみんなが安心して学校で過ごせるように試行錯誤しています。早く今まで通りの生活が送れるようにみんなで考え、みんなで協力していきましょう。



みんなでコロナウイルスに打ち勝とう！！